

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	商業振興事業		コード	04-02-02-01	担当課係	商工観光課商業振興係
事業実施期間	S46~		担当者	難波巧		
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり				
	中項目	起業と創造が支えるまちづくり				
	小項目	商業				
	施策	魅力的な商店街の創出				
電話	0869-64-1832					

事業について	
目的	商業振興に取り組むことにより、備前市の東備地域の拠点都市としての商業的発展を図る。
対象 (誰のために)	市内商店街組合、商業者グループ、商工会関係団体等
内容	商業振興のための事業として、都市商業ゼミナール等の実施、関係協会への負担金、及び商業振興対策事業に対する補助を実施する

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
負担金等件数	4	件		
商業ゼミナル参加者数	60	人		
伝統的工芸品広告数	166	回		
国際経済交流セミナー開催数	17	回		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	634	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	4,158	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	4,792	一般財源等	4,792	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.50	人		
結果指標①	結果指標名	商業ゼミナル参加者数		
	結果指標量	60		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	4,792,000	円	
	単位当たりコスト①	79,867	円	
結果指標②	結果指標名	伝統的工芸品広告数		
	結果指標量	166		
	単位	回		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	4,792,000	円	
	単位当たりコスト②	28,867	円	

事業の成果			
成果指標名	商業ゼミナール参加者数	式又は説明	岡山県都市商業ゼミナール参加者数
	17年度		
成果指標量	60		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	80(人)	到達目標年度	19年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	各事業は、市の商業振興につながっており有効な事業と認められるが、今後は事業の見直しを行い、より効率的な事業実施を目指す。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	80(人)	結果指標量②	170(回)
目標値	結果指標量	80(人)	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	負担金等の見直し	随時	経費節減
有効性	事業内容の見直し	随時	より有効な事業実施

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。